

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 久世

コード番号 2708 URL <http://www.kuze.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 久世 健吉

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営サポート本部長

(氏名) 菱岡 俊晴

TEL 03-3987-0018

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	38,422	6.5	202	△14.0	294	△8.7	159	55.6
23年3月期第3四半期	36,061	12.5	235	60.4	322	34.5	102	△23.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 162百万円 (109.7%) 23年3月期第3四半期 77百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	41.24	—
23年3月期第3四半期	26.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	18,873	4,020	21.3
23年3月期	13,856	3,904	28.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 4,020百万円 23年3月期 3,904百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	0.5	300	30.1	360	5.2	100	24.0	25.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	3,882,500 株	23年3月期	3,882,500 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	3,478 株	23年3月期	3,478 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	3,879,022 株	23年3月期3Q	3,879,086 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 追加情報	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響から持ち直しの動きが見られる一方で、欧州の財政問題をはじめとする海外経済の減速と長引く円高株安などにより先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループが事業活動の中心としております外食・中食市場におきましても、全般的に消費者の節約志向、低価格志向など依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは「第一次C&G経営計画」の最終年度として首都圏No.1、顧客満足度No.1を主眼に「頼れる食のパートナー」を掲げ、お客様に真に必要とされる企業となるべく諸施策を打ち、営業利益の向上を活動方針に事業活動に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は384億22百万円と前年同四半期と比べ23億60百万円(6.5%)の増収、営業利益は2億2百万円と前年同四半期に比べ32百万円(△14.0%)の減益、経常利益は2億94百万円と前年同四半期に比べ27百万円(△8.7%)の減益、四半期純利益1億59百万円と前年同四半期に比べ57百万円(55.6%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 食材卸売事業

当セグメントにおきましては、引き続き首都圏エリアでの積極的な営業強化を進め、またトータルコストの削減に繋がる物流効率に努めてまいりました。また生鮮野菜の販売では、業務改善の取り組みによる収益の向上に努めてまいりました。このような結果、売上高は359億29百万円と前年同四半期と比べ21億32百万円(6.3%)の増収、セグメント利益(営業利益)は5億37百万円と前年同四半期と比べ31百万円(6.1%)の増益となりました。

② 食材製造事業

当セグメントにおきましては、引き続き自社ブランド商品の販売強化、ユーザーブランド商品の開発・販売に努め、また継続的な品質向上とコストダウンにも取り組んでまいりました。このような結果、売上高は25億5百万円と前年同四半期と比べ2億26百万円(9.9%)の増収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は2億9百万円と前年同四半期と比べ5百万円(△2.4%)の減益となりました。

③ 不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、主に連結子会社を対象に不動産賃貸を行っております。当事業の売上高は1億14百万円と前年同四半期と比べ7百万円(6.5%)の増収、セグメント利益(営業利益)は91百万円と前年同四半期と比べ7百万円(9.0%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ50億17百万円増加し、188億73百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が24億8百万円、現金及び預金が15億31百万円、商品及び製品が8億40百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ49億1百万円増加し、148億53百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が46億27百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億15百万円増加し、40億20百万円となりました。これは主として利益剰余金が1億13百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の28.2%から21.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成23年5月17日に公表しました業績予想の数値に変更はありません。

なお、連結業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,125,516	4,656,968
受取手形及び売掛金	5,188,080	7,596,148
商品及び製品	1,489,992	2,330,494
原材料及び貯蔵品	158,610	124,445
その他	633,749	665,082
貸倒引当金	△38,428	△54,612
流動資産合計	10,557,521	15,318,527
固定資産		
有形固定資産	1,849,642	1,795,921
無形固定資産	132,831	94,949
投資その他の資産		
その他	1,379,700	1,728,251
貸倒引当金	△63,607	△63,840
投資その他の資産合計	1,316,092	1,664,410
固定資産合計	3,298,566	3,555,281
資産合計	13,856,087	18,873,809
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,900,614	11,528,421
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	421,321	483,988
未払法人税等	136,171	5,374
賞与引当金	152,915	93,567
その他	759,242	1,201,706
流動負債合計	8,410,264	13,353,057
固定負債		
社債	120,000	100,000
長期借入金	810,847	844,353
退職給付引当金	286,570	147,436
役員退職慰労引当金	184,609	172,326
その他	138,853	235,865
固定負債合計	1,540,880	1,499,981
負債合計	9,951,144	14,853,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	302,250	302,250
資本剰余金	291,900	291,900
利益剰余金	3,316,214	3,429,619
自己株式	△1,722	△1,722
株主資本合計	3,908,641	4,022,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,698	△1,276
その他の包括利益累計額合計	△3,698	△1,276
純資産合計	3,904,943	4,020,769
負債純資産合計	13,856,087	18,873,809

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	36,061,802	38,422,565
売上原価	29,926,128	32,115,872
売上総利益	6,135,673	6,306,692
販売費及び一般管理費		
給料	1,145,768	1,260,697
賞与引当金繰入額	81,360	83,189
役員退職慰労引当金繰入額	11,400	9,900
運賃	2,854,649	2,892,492
貸倒引当金繰入額	26,713	22,681
その他	1,780,447	1,835,368
販売費及び一般管理費合計	5,900,340	6,104,329
営業利益	235,333	202,362
営業外収益		
物流業務受託収入	115,423	34,504
協賛金収入	68,399	68,785
その他	83,661	99,990
営業外収益合計	267,483	203,280
営業外費用		
物流業務受託収入原価	115,122	47,723
催事等振替原価	35,124	31,378
その他	30,557	32,500
営業外費用合計	180,803	111,603
経常利益	322,013	294,039
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,932	—
退職給付制度改定益	—	61,018
特別利益合計	2,932	61,018
特別損失		
固定資産除却損	193	6,500
投資有価証券評価損	—	651
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	38,992	—
特別損失合計	39,186	7,151
税金等調整前四半期純利益	285,759	347,907
法人税、住民税及び事業税	173,184	102,133
法人税等調整額	9,768	85,820
法人税等合計	182,953	187,954
少数株主損益調整前四半期純利益	102,806	159,953
四半期純利益	102,806	159,953

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	102,806	159,953
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,376	2,421
持分法適用会社に対する持分相当額	—	—
その他の包括利益合計	△25,376	2,421
四半期包括利益	77,429	162,374
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,429	162,374
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(退職給付引当金)

当社及び一部の国内連結子会社は、確定拠出年金法の施行に伴い、平成23年4月に適格退職年金制度の一部について確定拠出年金制度へ移行し、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用しております。

本移行により、当第3四半期連結累計期間の特別利益として61,018千円を計上しております。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	33,779,975	2,279,366	2,460	36,061,802
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,892	—	105,296	122,188
計	33,796,867	2,279,366	107,757	36,183,991
セグメント利益	506,380	214,641	83,698	804,720

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び

当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	804,720
セグメント間取引消去	10,204
全社費用(注)	△579,590
四半期連結損益計算書の営業利益	235,333

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	35,907,638	2,505,994	8,932	38,422,565
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,146	—	105,836	127,982
計	35,929,784	2,505,994	114,768	38,550,548
セグメント利益	537,395	209,436	91,228	838,060

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び

当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	838,060
セグメント間取引消去	10,796
全社費用(注)	△646,494
四半期連結損益計算書の営業利益	202,362

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。